



FX ペンを FXII スタイルに移行する方法について

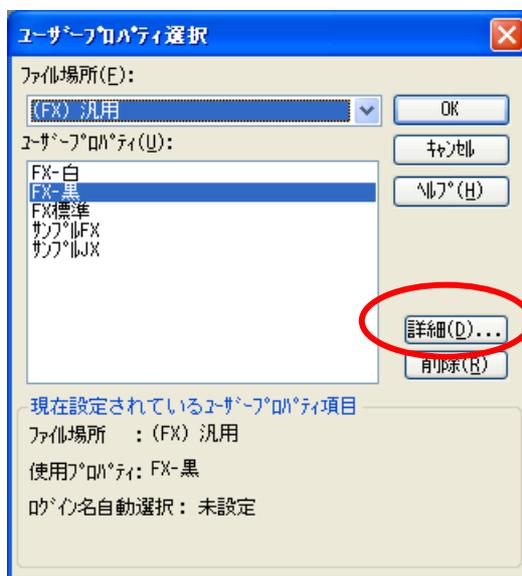


以下に移行手順をご説明いたします。

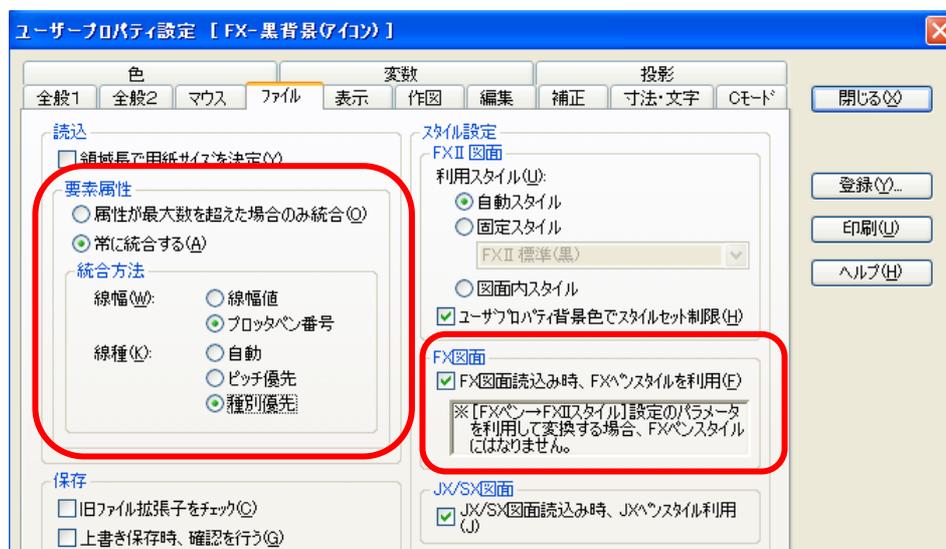
1. ユーザープロパティの設定変更

CADSUPER FXII を起動します。

[ファイル]—[ユーザープロパティ選択]をクリックします。設定されているユーザープロパティが表示されますので、「詳細」をクリックします。

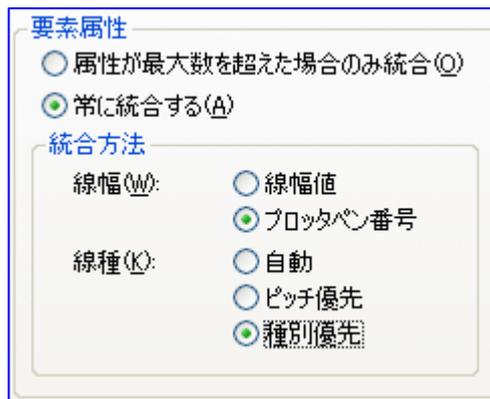


[ユーザープロパティ設定]—[ファイル]で、下記の設定を変更します。



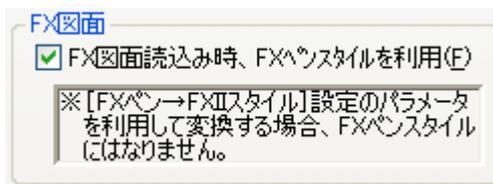
①読み要素属性

- ・「常に統合する」にチェック
- ・統合方法 線幅を「プロッタペン番号」に設定
- ・統合方法 線種を「種別優先」に設定



②スタイル設定-FX 図面

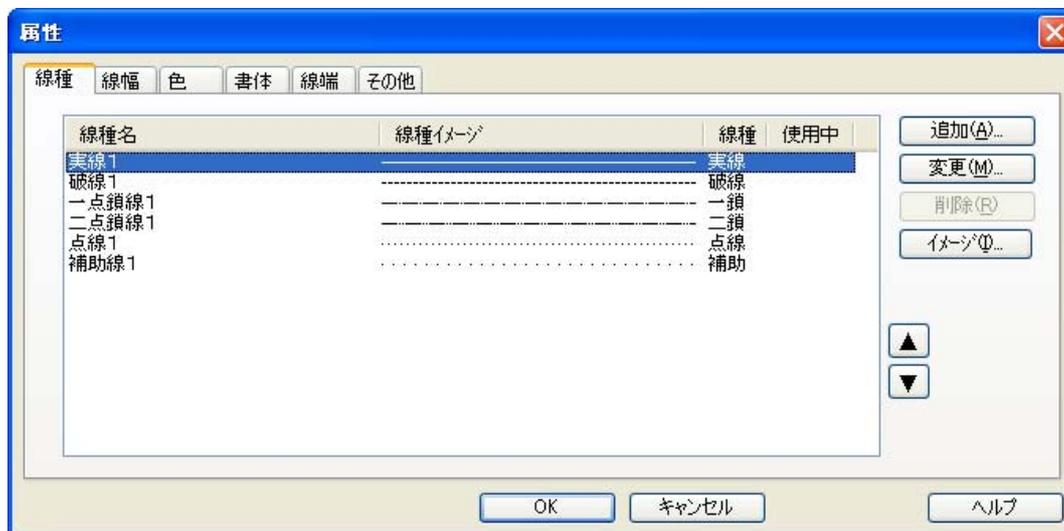
- ・「FX 図面読み込み時、FX ペンスタイルを利用」にチェックを入れます。



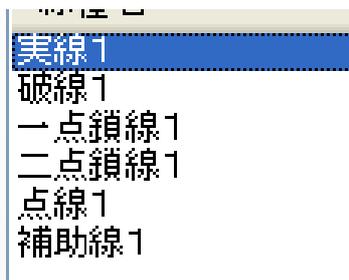
設定を変更した後、「登録」をクリックして上書き登録します。

2. 線種名の確認

FX 図面または、FX 図面テンプレートを開きます。
[設定]-[属性]で属性のダイアログで確認します。

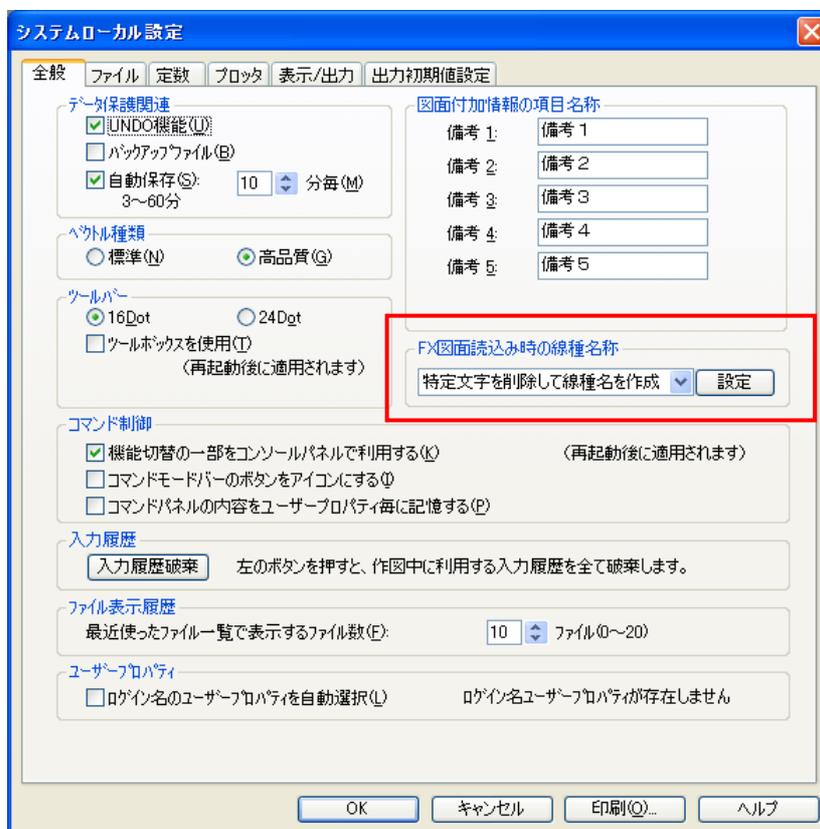


線種情報を確認すると、線種名に unnecessary 文字が表示されている場合があります。

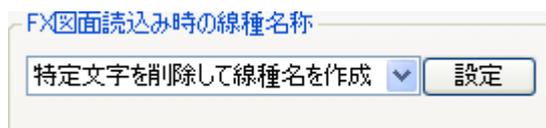


CADSUPER FX の図面を読み込む時、FX で使用していたペン名称を線種名称として取り込みます。そのため、線種名称に【実線1】や【太実線】など、線種名称として必要のない文字も取り込まれます。今回の場合は、「1」という文字が不要な文字ですので、これを削除します。開いている図面を閉じます。

【ファイル】-【システムローカル設定】を選択します。

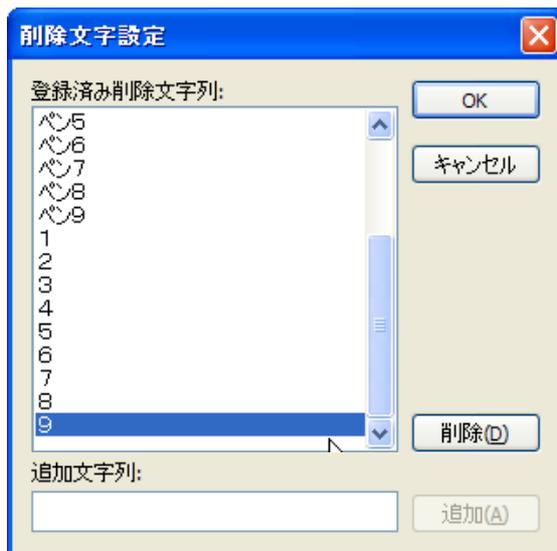


【FX図面読み込み時の線種名称】の設定を変更します



「特定文字を削除して線種名を作成」を選択して **設定** をクリックします。

追加文字列に「1」として入力して、 **追加(A)** をクリックします。



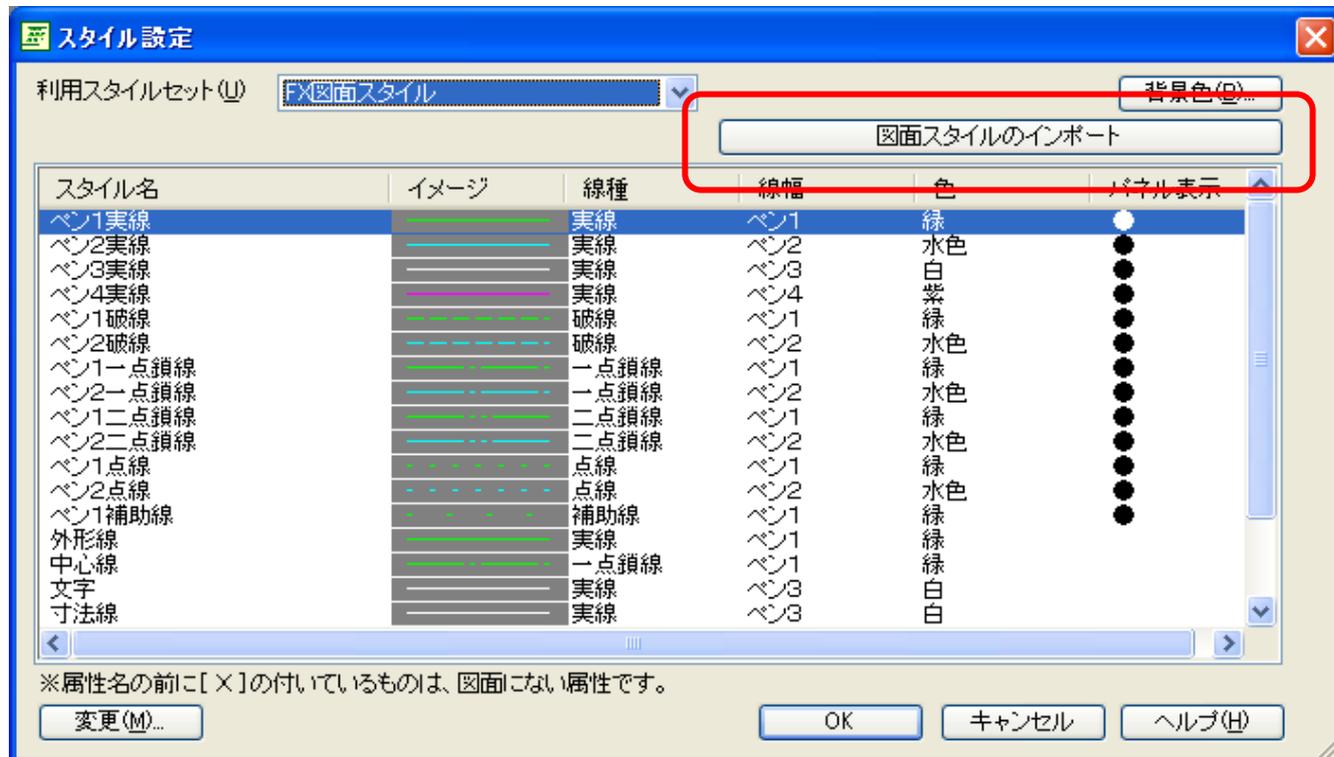
削除文字列の設定が終了しましたら **OK** をクリックします。

FX 図面または FX 図面テンプレートを再度読み込み、属性を確認して unnecessary 文字が削除されていることを確認します。

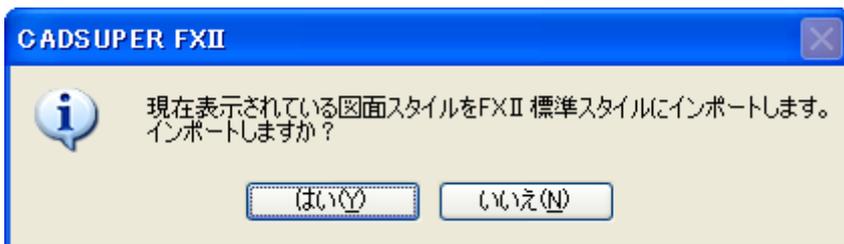
3. スタイルの設定

FX 図面または、FX 図面テンプレートを開きます。

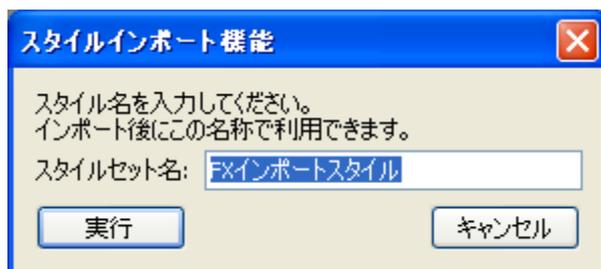
[設定]—[スタイル]をクリックします。



[スタイル設定]のダイアログで、「図面スタイルのインポート」をクリックします。

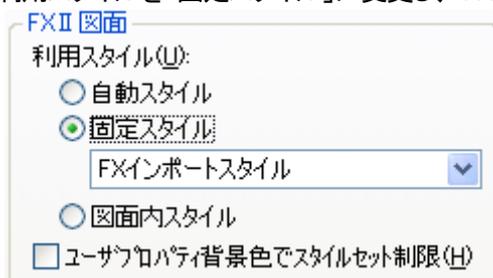


上記メッセージで「はい」を選択します。

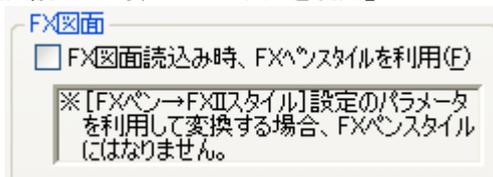


スタイルセット名が表示されますので、このまま実行をクリックします。名前を変更することもできます。開いている図面を閉じます。

[ファイル]—[ユーザープロパティ選択]をクリックし、ユーザープロパティが表示されますので、「詳細」をクリックします。利用スタイルを「固定スタイル」に変更し、「FX インポートスタイル」を指定します。



「FX 図面読み込み時、FX ペンスタイルを利用」のチェックを外します。



設定を変更した後、「登録」をクリックして上書き登録します。

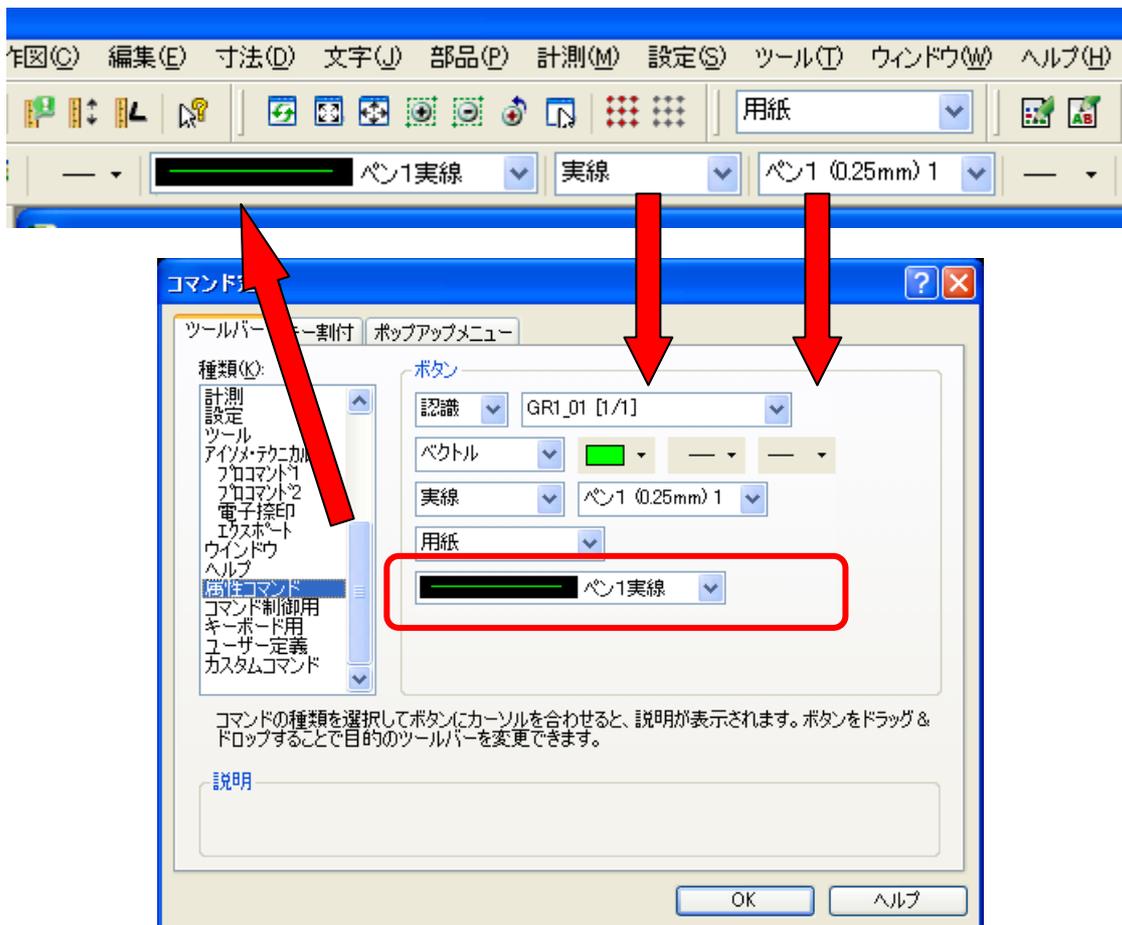
以上により、FX 図面を開いた時や、FX 図面を開き FXII 図面として保存した図面を開いた時に、FX のペンがスタイルとして表示されるようになります。

4. スタイル選択メニューのツールバー割付

FX のペン選択と同じように、スタイルをプルダウンメニューで選択できるようにします。

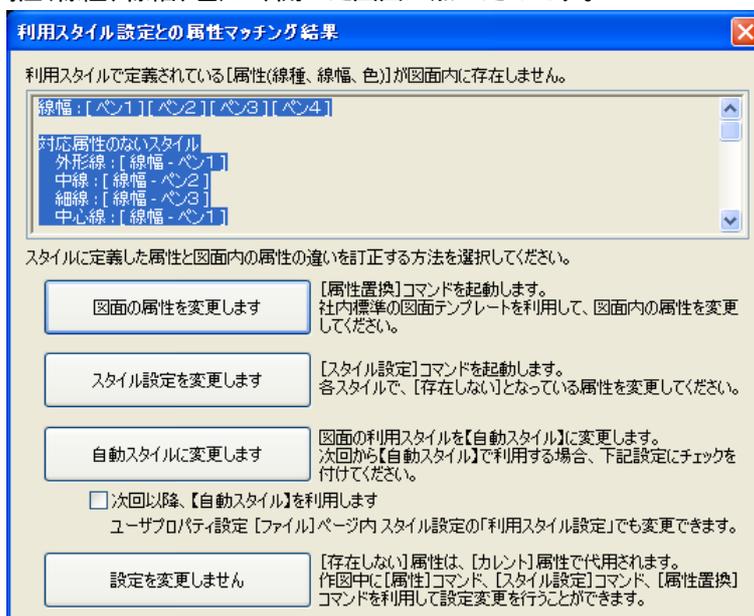
FX 図面または、FX 図面テンプレートを開き、[設定]-[コマンド定義]を選択し、[ツールバー]のタブで、種類:属性コマンドをクリックします。

ボタンの一覧から、「スタイル選択」を選んで、ツールバーにドラッグ&ドロップして割り付けます。「線種の選択」メニューと「線幅の選択」メニューが不要であれば、[コマンド定義]ダイアログにドラッグ&ドロップします。



5. 図面を開いた時にメッセージが出る場合

FX 図面、FXII 図面を開いた時に、下記メッセージが表示されることがあります。これは、「FX インポートスタイル」で設定されている属性(線種、線幅、色)が、開いた図面に無いからです。



「自動スタイルに変更します」を選択すると、開いた図面の属性に合わせたスタイルに切り替わります。図面を開く度にこのメッセージが出る場合は、「次回以降、【自動スタイル】を利用します」にチェックを入れます。これにより、ユーザプロパティ設定の利用スタイルが、「固定スタイル」から「自動スタイル」に変更されます。

以上